

地方自治の伸展に功績

元阿蘇市議会議員の高藤拓雄氏に旭日双光章

地方自治の伸展に功績があったとして、元阿蘇市議会議員の高藤拓雄氏（永草）が旭日双光章を受章され12月6日、市役所に受章報告に訪れました。

高藤氏は、平成6年に阿蘇町議会議員に初当選以来、町村合併後は阿蘇市議会議員として平成23年までの間、4期16年余りにわたり在職。阿蘇町議会議員時代は総務常任委員会委員長、平成19年から4年間は阿蘇市議会議長を歴任し、当時、三位一体改革に伴い市の厳しい行財政運営の健全化に向け、市民のニーズにこたえるべく議会運営に努め、地域社会の発展に尽力し、大きく貢献されました。



叙勲を受章した高藤氏（左）



阿蘇の空中散歩楽しむ

熱気球飛ばし復興支援

地震で被災した市民を励ますと熱気球の無料搭乗体験会が11月26日、農村公園あぴかなど2会場で開かれ、親子連れなどが空中散歩を楽しみました。

阿蘇温泉観光旅館協同組合が主催し、九州各地のバルーンニストや北海道上士幌町役場職員などが協力し行われたもので、四季彩いちのみやの会場には2機の熱気球が停留。ゴンドラに「がんばろう熊本」とメッセージが書かれた熱気球は、約10分の高さまで上がり、搭乗した子どもは「ワクワクしてとっても楽しかった」と満足した様子でした。

人権意識の高揚目指して

人権フェスティバル

2016阿蘇市人権フェスティバルが12月1日、阿蘇体育館で開かれ、300人を越す来場がありました。

人権週間に併せ、人権意識の高揚を図るために毎年開かれていくもので、講演会や人権劇などのステージ発表のほか、人権絵画やポスター、標語などの展示、障害者就労支援施設などによる販売が行われました。

講演では、「歌うママ防災士」として活動している柳原志保氏（和水町在住）が、熊本地震などの被災体験を交え「災害時にはさまざまなニーズ、考えがあることを認識し、認め合うことが大切」と話しました。





わだい



WebTV アリ
ア
リ

感謝状を受け取る市社会福祉協議会会長の佐藤市長と陸上自衛隊の明月聖幸第5大隊第3係主任

地震支援に感謝の思いを

阿蘇中学校で「感謝祭」

熊本地震で支援を受けた人たちに恩返ししよう和阿蘇中学校で11月13日、「感謝祭」が開かれ、物販やステージ発表などを行い、来場者に感謝の気持ちを届けました。

バルーンリリースでは、生徒や地域住民が校舎ハルコニーに集まり、「ありがとう」の掛け声に合わせて一斉に風船を放ちました。その後、発災時に支援に駆け付けた陸上自衛隊第8特科連隊と市社会福祉協議会へ感謝状の贈呈が行われ、生徒会長の伊藤照太さんが、「たくさんのことを学ばせてくださった皆さまに感謝します」と、謝意を伝えました。

神社への復興の願いを詩吟に

香雲堂吟詠会が詩吟を奉納

香雲堂吟詠会阿蘇中央支部（石田武本部長、16人）は11月29日、阿蘇神社の復興を祈願し、詩吟を奉納しました。

同支部では、これまでに阿蘇神社に関係するさまざまな詩吟を詠んでおり、奉納された詩吟は、阿蘇神社の早期復興を願い作られたものです。作詞は同吟詠会総本部の宗家瓜生田三櫻氏（熊本市）で、「楼門を覩て感有り」と題し、倒壊した楼門前で吟じました。

石田本部長は「吟じることができたことを誇りに思う。再建の際にはこの場所で詩吟を披露したい」と話していました。



わだい

倒壊した楼門の前に詩吟を披露する香雲堂吟詠会の皆さん



わだい

市道沿いのごみ収集に当たる会員の皆さん

ゴミのない街を目指して

阿蘇中部建設振興会が不法投棄ごみを撤去

阿蘇市と産山村の建設業の若手経営者で構成する阿蘇中部建設振興会（高橋直文会長）は11月26日、車帰りの石間の市道沿いに不法投棄された空き缶や可燃物など150kgのごみ撤去作業を行いました。現場は、車両の通行量が多くごみが散乱していましたが、同会員18社と行政機関など約20名で作業を行いました。

同会は地域貢献活動の一環として、不法投棄現場の撤去をボランティアで実施しており、今回で10回目の活動となりました。

地震乗り越えた阿蘇の米高く評価

米・食味分析鑑定コンクールで金賞

表彰

受賞を喜ぶ中山北斗さん（中央右）と父の美智也さん（中央左）



第18回米・食味分析鑑定コンクールが12月3・4日、菊池市で開催、阿蘇市で農業を営む中山北斗さん（竹原）が、大会最高位の「国際総合部門」で金賞を受賞しました。

米のオリンピックピックとも言われる同コンクールには、全国各地から5千を超えるお米が出展。中山さんは初めて栽培した粘りや甘みが強い「びかまる」という品種で、高い評価を受けました。

市役所を訪れた中山さんは「地震や噴火がある中、この受賞で阿蘇の人たちに元気を与えられた。美味しい米を作っていきたい」と喜びを語りました。



わだい



テーブルに並んだ保存食を食べる来場者

災害時に役立つ保存食の試食会

「簡便食・保存食」試食会開催

災害時に役立つレトルト食品などの「簡便食・保存食」試食会が12月8日、道の駅阿蘇などで開かれ、試食を通して来場者に日頃の備えを呼びかけました。

災害時における緊急時の備えとして、防災意識を高め非常用物資の備蓄について考えてもらおうと、（社）民間活力開発機構の協力により市が主催したもので、会場では、県内外の食品メーカーが、乾燥惣菜やアルファ米のわかめご飯などを紹介し、来場者は一つ一つ味を確認していました。

また、道の駅波野神楽苑では、市民と企業を交えた意見交換会も行われました。

次の大会は優勝だ！

宮地地区でミニ駅伝大会

わだい



保護者らに見守られながらスタートを切る選手たち

宮地地区で12月12日、ミニ駅伝大会が一の宮中学校グラウンドの外周コースで開催、小学3年生から社会人までの40人が参加しました。

宮地地区では、地域対抗駅伝大会に過去最多の4チームがエントリーしていましたが、雨で中止になったことから次回大会の優勝に向けて機運を高めようと初めて企画。1週750kmの外周コースを5チームに分かれ、それぞれが力走し、タスキをつなぎました。

最高齢68歳で出場した塚本敬三さん（町2区）は「子どもたちと走って若返った気持ち。このような催しを続けてほしい」と話していました。

わだい



パネルディスカッションの様子

観光圏の連携強化図る

全国観光圏シンポジウムが阿蘇市で初開催

全国観光圏シンポジウムが11月25日、市内ホテルで開かれ、全国13の観光圏関係者など約300人が参加しました。
観光圏とは、自然や文化など密接な関係のある観光地を一体とした区域のことで、このシンポジウムは、地震からの復興支援を兼ねて初めて阿蘇市で開催。「観光による復興支援と豊かな地域づくり」をテーマに、小野泰輔熊本県副知事による基調講演や佐藤市長による観光に関する発表、全国の観光圏担当者によるパネルディスカッションが行われ、観光圏同士の連携に向けた情報共有が図られました。

チェーンソーの技術競う

あその山モン伐木チャンピオンシップ

わだい



チェーンソーを使い伐倒に臨む競技参加者

あその山モン伐木チャンピオンシップ2016が12月17日、なみの高原やすらぎ交流館を主会場に開かれ、日ごろの仕事などで培った林業技術を競いました。
本大会は、阿蘇地域林業担い手対策協議会が主催し、林業における作業意識の向上と新規就業者の拡大などを目的に阿蘇市で初めて開催されたもので、競技には阿蘇郡市から7名が参加。伐倒位置の正確性や作業の安全性のほか、ファッショニングなど10を超える審査項目で競技が行われました。
このほか、山の幸を使った料理の試食会や林業セミナーが開かれ、林業に親しむ一日となりました。

わだい



正月前にスッキリと

理容ボランティアクラブが散髪

理容業者でつくる阿蘇理容ボランティアクラブ(西誠治代表、4人)は12月12日、特別養護老人ホーム「阿蘇みやま荘」を訪れ、入所者への散髪ボランティアを行いました。
同クラブでは、入所者に正月を気持ち良く迎えてもらうと、毎年行っており、お盆の時期にも実施。今回は約30人の散髪を行いました。
クラブの皆さんは、入所者と会話を弾ませながら要望に合わせて散髪を行い、散髪を終えた人は「おかげで正月を前にスッキリしました」と感謝していました。

地震の備えを万全に

自主防災組織モデル地区地震避難訓練

地震を想定した避難訓練が12月11日、一の宮の3地区で同時に行われ、避難経路や連絡体制を確認しました。

この訓練は、防災教育研究指定校を受ける一の宮中学校が主催し、自主防災組織モデル地区を対象に行われたもので、下町地区では、小中学生10人を含む40世帯95人を対象に実施。朝9時にお知らせ端末で訓練放送が流れると、一時避難所となつて旧坂梨小学校に徒歩や車で一斉に避難しました。

訓練後、市消防団の高木勝幸分団長が「要支援者の搬送などスムーズにできたと思う。日頃の備えをお願いしたい」と講評しました。



点呼確認をする地元区長や参加者。12月17日には東区でも同様の訓練が行われました。

全国大会 & 市民スポーツ大会結果

(左から2番目)



●テコンドー

(11.20 / 東京都)

第34回全日本テコンドー選手権大会(一般の部)

優勝 森永 修斗(ルーテル高校1年/一の宮中出身)

当日は総勢96名の方々に参加いただき、スポーツを通して親睦を深めていただきました！

(11.20 / 阿蘇体育館)



優勝:ミニドルフィンB(ソフトバレーの部)



優勝:阿部牧場(ミニバレーAの部)



大会の様子



優勝:エンジェルズ(ミニバレーBの部)

第12回阿蘇市民スポーツ大会

ミニバレーAの部(8チーム参加)

優勝 阿部牧場

準優勝 ポテトチップス

第3位 レッドブルズ

ミニバレーBの部(5チーム参加)

優勝 エンジェルズ

準優勝 インパルス

第3位 チーム阿蘇

ソフトバレーの部(5チーム参加)

優勝 ミニドルフィンB

準優勝 ミニドルフィンA

第3位 アグレッシ部A

九州森林管理局阿蘇監督職員詰所を開所しました

熊本地震により阿蘇市や南阿蘇村を中心に大規模な山地の崩壊などが発生し、林地荒廃とともにこれまで整備してきた治山施設も甚大な被害を受けました。

九州森林管理局では、熊本県知事からの要請を受け、県が管理している治山施設のうち本地震により被災した治山施設について、阿蘇市内4地区、南阿蘇村内13地区で特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業により、今後、おおむね3年間の予定で復旧整備を行います。

今後、事業の円滑な実施を図るため、局職員が関係機関や工事受注者などの打合せなどを行う監督職員の詰所を旧JA阿蘇黒川支所(阿蘇市黒川8)内に開所しました。

今後、復旧整備工事に際し、工事関係車両の通行など、地域住民の皆さまにご迷惑をおかけしないよう留意しますので、円滑な事業の実施にご理解とご協力をお願いします。

なお、監督職員詰所には職員は常駐しませんので、お気づきの点などがございましたら左記までご連絡をお願いします。

☎九州森林管理局治山課
096-3328-3632



地域をつなぐ 世代をつなぐ



小春日和の11月18日、赤仁田集会所で月に一度の老人会で、食改波野支部会員による学習会を行いました。

学習会の内容は、TUNAGU(生活習慣病予防のための減塩スキルアップ)のテキストを参考に、全員で声を出して読みました。気になる生活習慣病のページは何度も大きな声で、内容の理解につとめました。健康チェックでは、メタボメジャー(※)を使って、お腹まわりをお互いに測りました。お腹まわりが大きくて測れない方には、その人の生活や食事に関し、おもしろおかしく意見を出し合い、生活改善について考えました。日常生活の大切さを田舎ならではの雑談でテキストの本と照らしながら楽しむことができました。



最後に食改員が調理したあさりとコーンのチャウダー、かぼちゃのきんぴら、豆腐万十、また各家庭から持参した味噌汁の塩分測定の実験を行いました。近ごろはうす味にも慣れ、1.3パーセント以上(標準は0.8~1.0パーセント)の方が32人中1人と少なく、嬉しく思いました。

(波野支部長 檜木野浮子)

※メタボメジャー:100センチまでしかないメジャー

我が家のような心地よさを...

医療法人社団 坂梨会
住宅型有料老人ホーム

みずあさぎ

病院が隣接しているので、医療機関との連携充実
阿蘇温泉病院の管理栄養士が考案したバランスのとれた食事
電動ベット・車いす・歩行器・テレビ・冷蔵庫など無償貸し出し
源泉かけ流し天然温泉



2月オープン
入居者募集中



みずあさぎ開設準備室 0967-32-0881